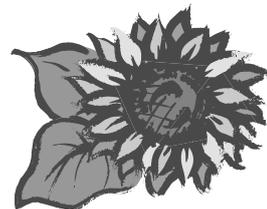


会報

ひまわり

45号

ひまわりの会



— 発行人 —

会長 一柳一男

— 事務局 —

前橋市堀之下町 16 番 1
財団法人群馬健康づくり財団内
電話 027 (269) 7811

第45号の発刊によせて



会 長
一柳 一男

会員の皆様、お元気ですか。

今年に入り寒い日が続いていますが、この号が発行される頃はあたたかくなり、過ごしやすい日々となっていることと思います。

昨年は大変な年でした。東日本の大震災、大津波、そして原発事故による放射能問題、集中豪雨、円高、株安等、政治の混迷と暗いニュースばかりでした。その中で「なでしこジャパン」の活躍が唯一の救いといったところでした。

私ども「ひまわりの会」は「がん征圧街頭キャンペーン」や「がん電話相談」又は毎月実施している「茶話会」などの活動を通じ、検診によるがんの早期発見、早期治療の重要

性を訴えつづけてまいりました。そうして私ども「ひまわりの会」は発足30周年を迎えました。その永きにわたり、がん征圧運動に貢献してきた功績が認められることになり、公益財団法人日本対がん協会より、日本対がん協会賞（団体の部）を受賞することになりました。去る9月2日鹿児島県鹿児島市で開催されました「日本対がん協会全国がん征圧大会」の場で表彰式が行われました。「ひまわりの会」を代表して、私が出席し、表彰状と記念の品をいただきました。

私どもは今後とも会員相互が健やかな生活の営みが続けていくため、共通の体験を持つ仲間同士として情報の交換や豊かな人間性の涵養のため研鑽を重ねるよう努力したいと思います。今年も会員の皆様のご努力を宜しくお願いいたします。



茶話会へのお誘い

北爪 保枝

ひまわりの会の皆様、お元気ですか。

年が改まり晴れた日が多かった頃、処によつては記録的な降雪とのニュース、立春も過ぎたのに朝夕の厳冬に逆戻りした天候、我が家の梅の開花もだいぶ遅れている、いつしか庭の片隅に植えた福寿草がぼつかりと土を上げてあざやかな花を咲かせました。

昨年3月はひまわりの会では30周年を祝う祝賀会も盛大に済ませることが出来ました。

9月には日本対がん協会より「日本対がん協会賞(団体の部)」が授与されました。

そして今年平成24年の新年会は受賞祝賀会と併せての大変有意義な楽しい時間を私達会員一同過ごすことが出来ました。これもひとえに健康づくり財団、また様々な行事にご協力ご指導いただきました皆さまのお陰と感謝の気持ちで一杯です。

かえりみるに昭和55年当地での発足、さぞ大変なご苦労のことだったと思います。

現在とは社会もがん患者に対しての見方、

考え方、総てに於いて大変な世情であったことと思えます。現在では2人に1人ががんになるとも言われ、がん患者は年々増すばかりです。しかし早期発見そして治療すれば共生して行けるのです。がん患者に対しても理解していただきたいと思えます。元気なのです。しかし、羨める時もあります。ひまわりの会では毎月定例会「茶話会」が開催されています。どんな些細な心配でも話し合える、お互い認め合い、よりよい、優しいお仲間なのです。茶話会にでかけてみましょう。暖かいところ、暖かいお茶、そして笑顔も楽しい集いです。お出かけください。お待ちしております。



北爪さん 左から2番目

「ひまわりの会」

新年会によせて

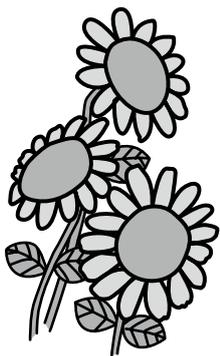
青木 昭子

ひまわりの会の新年会が一月二十六日群馬ロイヤルホテルで開催されました。

今回、会長はじめ事務局の方の指導のもとで「日本対がん協会賞(団体の部)」を受賞し、祝賀会と新年会が併せて行われました。

受賞に際し、お招きしました来賓の先生方からお祝いのお言葉をたくさんいただき、和やかな雰囲気の中で新年を祝いました。

今回新しく入会された会員さんも参加され、総勢二十八名でおいしく食事をいただき、楽しいひと時を過ごさせていただきました。今年には寒さが一段と厳しかったので、健康に充分気をつけて、またひまわりの会の皆様と一緒に活動して参りたいと思います。



日本対がん協会賞
受賞祝賀会並びに
平成24年新年会

日時：平成24年1月26日（木）12時開宴

場所：群馬ロイヤルホテル9F ローズルーム

日本対がん協会賞（団体の部）受賞祝賀の
会ということから、来賓として4人の関係者の
方々をお招きし、ご祝辞をちょうだいしました。
皆さん、日ごろからひまわりの会の活動に
ご協力いただいている方々です。
お忙しいなか、ご列席いただきありがとうございます。
ございました。

（来賓の方々）

群馬大学大学院保健学研究科

神田清子教授

県立県民健康科学大学

狩野太郎准教授

群馬県がん患者団体連絡協議会

本田攝子会長

群馬県健康づくり財団

下村泰久業務部長



青木さん 後列左から7番目

「秋季旅行」に参加して
新居 深年

11月13日、14日と信州の別所温泉に出掛けました。

当日は天気で、関越道、上信越道から見る山々は紅葉につつまれ、見事でした。

また、島崎藤村ゆかりの名園「懐古園」を見学、庭はもみじやけやきの老木が色鮮やかに深まり、美しい表情を見せてくれました。

翌日は松本城を見学し、本丸の階段を登ったのですが、高さがあった大変でした。

又、松本城の公園の紅葉もとてもきれいでした。

庭には結婚式の写真撮りをしていて、羽織袴の婿さんと白無垢の花嫁さんがいて、皆「わあ、きれいな」と言ってみて見とれていました。今回の旅行は、一に天気、二に紅葉が見事でした。



平成 23 年 11 月 13 日 (日) ~ 14 日 (月) 1 泊 2 日
 長野県別所温泉 (別所観光ホテル)
 紅葉の美しい信濃路を会員 12 名 + 事務局 5 名で旅しました。
 11 月とは思えない暖かい陽気に恵まれて、島崎藤村ゆかりの懐古園や国宝・松本城めぐりました。

平成 23 年度 秋季 旅行



新居さん 一番左



矢島さん 一番左

私には誕生日が二回あります。九月と手術した日です。三月の誕生日には、ケーキを買ってロウソクを立て、自分だけで、一年間健康に仕事に頑張った事に感謝し、「ありがとう」と言ってお祝いします。

「ひまわりの会と私」
 矢島 好子

乳ガンの手術をしてから三月二十三日が来ると、六年目に入ります。

五年前に、入院先の病院に全部いやなことを、大泣きし、涙をお風呂場の排水口に流し、退院して来ました。

週一回抗がん剤治療が始まり、何かがん関係のサークルがあるか婦長さんの清水さんに聞き、一覧表をいただき、何か所か広報を取り寄せ、読ませていただきました。

「あ、「ひまわりの会」という文字が目に入り、「これだ、入会しよう」と思い、今があります。なぜかという、治療中、身体がだるく、毎日、「布団の中生活」が続く、気分がいい日には外に出て、草花やアリの動く姿や土を見ている毎日が続いていたある日、太陽に向かってひまわりが「頑張れ」と言わんばかりに咲いていたのです。

私を元気づけてくれたひまわりが大好きなのです。

会に入って、全国大会や秋季旅行、茶話会、新年会に参加させていただき、会員の皆様とお喋りするのを楽しんでいます。

これもひとえに財団の方々のサポートがあつての事です。ありがとうございます。これからもよろしく願います。

幸せな日々

米山 くにの

群馬県内とは申せ、私の住む処は北西部、中心からはかなりへだたりがあります。

ひまわりの会の連絡を頂戴し、みな様にお会いしたいと思いつながら車の運転は出来ず、交通手段の不便さ、なかなか思うように参りません。名前だけの会員じゃ申し訳なく思います。ある時ふとしたことが発端で「秋の親睦旅行 磯辺温泉」とありました。近くなので参加してみようか？と思いつ立ち、申込みました。高崎駅で迎えて下さり、初めてお目にかかる会員のみな様に緊張した面持ちでバスに同乗させていただきました。宿に着いてからも和やかな雰囲気の中に仲間入りさせていただき感激でした。病を患った方々がこんなにも生き生きと明るく歩んでいる、そんな空気がとても不思議な印象でした。

幸い私も術後二十数年経ち、病気のことなどすっかり忘れ去り、元氣そのものです。

近頃は、年に一度くらいは必ず「ひまわりの会」の催しに参加出来るよう努力したいと

思っています。

昨年は秋の別所温泉の旅に途中から合流させて頂き、久し振りみな様にお会い出来、大変嬉しかったです。

翠月の松本城は晴れ渡った青空の下、終わりのもみじを眺め、たのしいひとときでした。定例会やキャンペーン、展覧会など行事や交流の場面は沢山ありますが、遠くの方から伺いながら、すべて失礼しております。何のお手伝いも出来ず恐縮ですが、これからもどうぞよろしく願っています。



米山さん 後列左から2番目

ひまわりの会の皆様へ

河村 三枝子

記録的な寒波や大雪となり、例年よりも厳しい寒さが続いています。皆様元気で過ごしのことと思います。

私がひまわりの会の担当になり、今度の4月でもうすぐ2年になるところですが、春を目前にして産休に入ることになりました。

皆様にはしばらくお会いすることが出来なくなり、ご迷惑をおかけしますが新しい命の誕生を見守っていただけたらと思います。

この2年たくさんの方がありましたが、昨年の9月には一柳会長と鹿児島まで同行させていただき、ひまわりの会の皆様の長年の活動が日本対がん協会賞(団体の部)として表彰される瞬間に立ち会わせていただきました。会場からの大きな拍手に感動したとともに、満員の会場を埋め尽くす人たちの中に数多くの高校生がいたことにも驚き、今後のがんに対しての活動や動向が楽しみにもなりました。今はリボンムーブメントなど大学生が同世代や年の近い高校生に対して子宮がん検

診の普及啓発活動を行っています。がんになった人、がん患者の家族だけでなく、若いうちからがんを身近に感じてもらったり、がん患者を取り巻く環境を知ること、もつともつより良い未来になることが期待できると思いました。

私自身も20歳の時に母をがんで亡くし、おとしは姉までもがんと発症しました。がんに対する思いは正直言えば複雑です。がんのことを考えれば、辛い気持や怖さ、自分も近い将来がんになるのでは…と恐怖さえ感じます。それでも、会員の皆様と接することで、がん患者もその家族もとにかく前向きに人生を歩むことで、こんなにも明るく、楽しく、有意義な人生を送れるということが分かりました。このことは私の人生の教訓であり、財産となることでしょう。

ひまわりの会の皆様にはこの2年で色々なことを教えていただいたり、経験させていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。短い間でしたが大変お世話になりました。これから、ひまわりの会の活動が、たくさんの方たちの支えとなり、道しるべとなることを期待しております。



全国よろこびの会 天童市にて



河村保健師 左から4番目

ひまわりの会 今期の活動紹介

がん征圧共同キャンペーンに参加

平成23年度9月17日(土)秋晴れの中、グリーンドーム前橋において1000人フラが開催されました。そのなかで「がん征圧共同キャンペーン」が行われ、がん患者団体連絡協議会から、ひまわりの会をはじめとする8つの団体が参加しました。

9月のがん征圧月間に例年実施しています。今年もみのり感謝祭と相まって大変な賑わいを見せました。

たくさんの方の来場者に「検診による早期発見・早期治療の大切さ」や仲間がいつもそばにいる「患者会の素晴らしさ」などを伝えることができました。

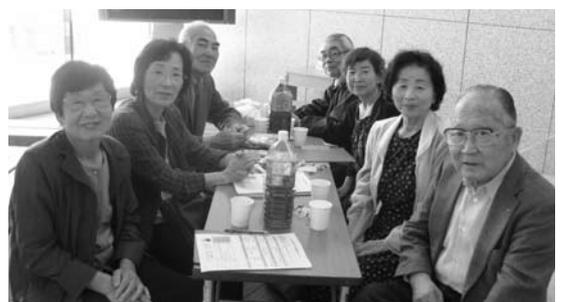


作品展を開催しました

平成23年10月6日(木)・7日(金)群馬県庁一階県民ホールにおいて群馬県主催の「がんと向き合う作品展」が開催され、ひまわりの会からもたくさんの方が作品展されました。

写真、絵画、書道、工芸品 等々、見事な作品の数々に、会員の皆さんの多才ぶりに感心しました。

また、今年は群馬県がん患者団体連絡協議会合同の作品展であったため、より多くの方々に見に来ていただき、新たな人達との交流もありました。



群馬県がん患者ミーティング2011

平成23年11月26日(土)群馬県健康づくり財団6階大会議室において群馬県がん患者ミーティング2011が開催されました。患者会の会員さんをはじめ、群馬県がん患者団体連絡協議会関係者、医療従事者の方々に参加、アトラクションとして参加者全員の「365歩のマーチ」の合唱で開幕しました。

リレートーク「がんに負けないために」

体験者・支援者からの提言〜ではひまわりの会から原陽子さんが参加、「がんと向き合って 私の役割とこれから」と題して、ご自身の体験を語っていただきました。



新 会 員 紹 介

原 陽子さん (高崎市)

根岸 美代子さん (太田市)

高橋 浩司さん (渋川市)

塚越 宏一さん (高崎市)



一緒に
活動して
みませんか

本会の活動にご賛同くださる方々のご入会をお待ちしています。

ひまわりの会事務局

(群馬県健康づくり財団内)

電話〇二七

(二六九) 七八二

